



# つぼみぐみだより



2023年1月

明けましておめでとうございます。昨年はクラス運営にご理解、ご協力頂きありがとうございました。つぼみ組での生活も早いもので残り三か月となりましたが、引き続きよろしく願い致します。年末年始の休みで大人も子どももいつもの生活リズムに戻すのに、少し時間が掛かるかもしれませんが、子どもたちの様子を見ながら、少しずついつもの生活に戻していけたらと思います。

## 今の子どもたちの様子から（大人の対応について）



ハイハイやズリバイだった子どもたちもあつという間に歩けるようになり、自らの意志で様々な場所に行くようになりました。

歩けるようになったことは嬉しい一方、大人からすると「行ってほしくない場所に行ってしまう」等また別の悩みが出てきているのではないのでしょうか？

また、そうした身体面の成長もそうですが、情緒面での成長もあり、「こうしたい」「これがいい」等の主張も強くなり、大人の思っているように。

クラスでもそうした姿は多く見られますが、そんな時こそ・・・

1. 子どもたちの気持ちを尊重します（例「行きたかったね」「これやりたいよね」等気持ちを代弁）
2. その上で「でも、あつちは行けないよ」「今は出来ないけど、あとでやろうね」等その理由を伝えたり、違う提案をしたりします
3. 大人の話聞いてくれたら、「ありがとう」「またやろうね」等感謝の気持ちを伝え、次の行動に移ります

「なんで、そんなところ行くの!」「行っちゃダメって言ったでしょ!」「それは出来ない!」「やったらダメ!」等の否定語は使わず、あくまでも、その子の行為を感情的にならずに注意し、促していくことが大切です。

また、「それはしてほしくない」「それをされると私は悲しい気持ちになる」等「話の主体を大人」に持つことも注意の仕方としてはいいと思います。他者の気持ちを理解するキッカケにもなります。

それでも、聞いてもらえない時は園でもあります。そんな時はその行為を止め、抱っこする等してその場から離し、気持ちを切り替えてから話すようにしています。

もちろん、一度や二度では理解してもらえません。大人がブレずに同じことをしたら、同じように注意・話を積む重ねていくことが大切です。気が遠くなるような作業ですが、この積み重ねが信頼関係を作り、子どもたちの成長を促します。「それでも大変!」という時は是非担任までご相談下さい!



### 保育参加してみませんか？

つぼみ組では平日 AM に保育参加を行っております。希望される方は事前に担任までご相談下さい。時間は 9:00～食事終了までです。

日頃のお子さんの様子を見て頂くのはもちろんですが、園での保育が日頃の子育てのヒントや気づきになれば幸いです。

保育参加についてご不明な点等ありましたら、担任までお願い致します。